

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 550504	家庭訪問員派遣事業				主管課名	高齢福祉課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 幸広				
		施策	みんなで助け合える福祉のまち									
		基本事業	高齢者に安全・安心な地域社会の推進									
(1)事業の概要												
ねたきり老人の日常生活の相談及び安否の確認をするために、家庭訪問員がねたきり老人の家宅へ定期的に訪問する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						年間延べ利用者数		人				
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		市内に住所がある65歳以上の者で、3か月以上継続してねたきりの状態にある者の家に、家庭訪問員が月1回以上進物を持って訪問し、日常生活上の相談に応じたり安否を確認する。										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	廃止									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市内に住所がある65歳以上の者で、3か月以上継続してねたきりの状態にある人						名 称		単 位				
						65歳以上の住民で、3か月以上ねたきりの人数		人				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
家庭訪問員の利用を申請する						名 称		単 位				
						サービス利用の申請をした人数		人				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
安心して住み慣れた地域で生活してもらう						名 称		単 位				
						サービスを利用した高齢者の数		人				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単 位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		人	27	48								
(6)の対象指標		人	50	50								
(7)の成果指標		人	4	4								
(8)の結果の成果指標		人	4	4								
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	21	19	0	0	0	0				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	21	19	0	0	0				
人件費 B		千円	406	489	0	0	0					
正職員従事時間×人数		時間×人	110 × 1	130 × 1	×	×	×					
正職員以外の人件費		千円										
その他費用 C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	427	508	0	0	0					
単位あたりコスト		千円/ 人	9	10								
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	550504	家庭訪問員派遣事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成元年 から			事業の利用希望者は減少の傾向にある。また、3か月以上寝たきりの高齢者は、要介護認定を受けており、介護保険サービスを受給し安否確認も多く行われる。さらに、家庭訪問員の訪問を希望する高齢者や介護者も訪問がありがたがる反面負担と感じているとの意見もある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
寝たきりで外出できない高齢者の安否を確認するため				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない 変化し寝たきりで常時在宅の高齢者が少なく、介護保険サービスを受給している。 変化している				

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
		自治事務	根拠法令	みよし市家庭訪問員派遣事業実施要綱			
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由	この事務を行う根拠又は理由	寝たきりの高齢者の日常生活の相談及び安否確認をするため	
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由 又は 内容		現在訪問をしている対象者に訪問することが出来なくなる。	
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由 又は 内容		現状で成果が上がっていると考えられるため。	
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
		(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	理由 又は 内容			
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	理由 又は 内容			
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容			
		受益者がいない					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	低下
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	介護保険制度が始まる以前からの事業であり、介護保険制度において必要なサービス提供がされるため、高齢者の安否確認や見守りについては、本事業が無くても対応できていると考えられる。平成23年度で廃止した。					